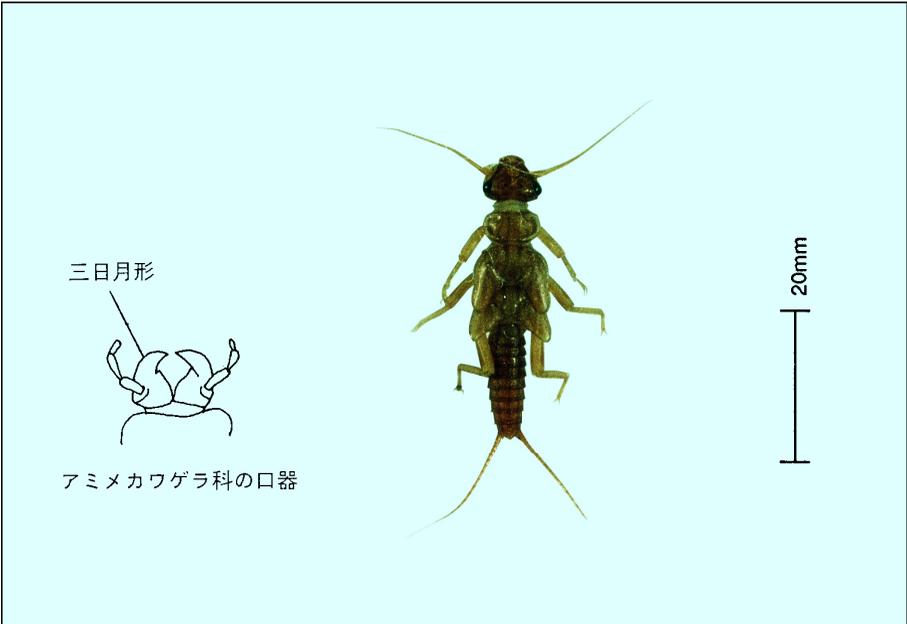


胸部はつばさのように横に広がる。

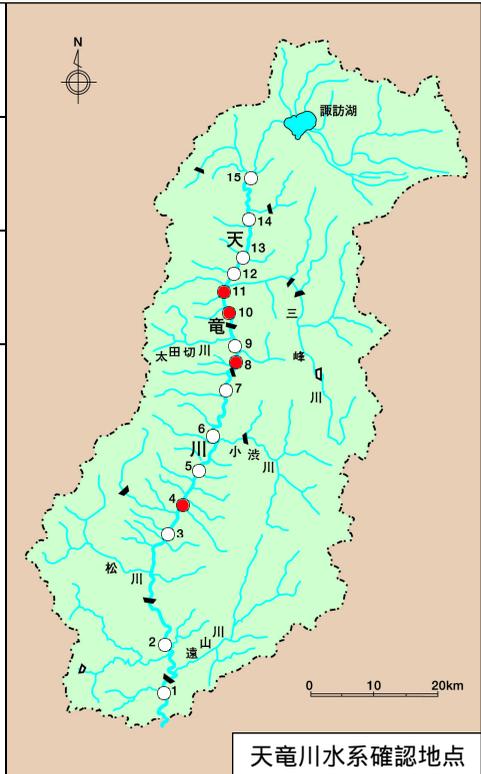
生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps	
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない	
	底質	速い ← → 遅い	
	分布範囲	礫 — 砂 — 泥	
生活様式・その他	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼	
	<p>◇流れのゆるやかな小川や瀬の石の下、朽ち木などの間、あるいは急流や滝の飛沫で常に濡れている石の上などに見られる。</p> <p>◇ほふく型。</p> <p>◇植食性。</p> <p>◇年1世代で、6月～7月に羽化する。</p> <p>◇天竜川流域では、太田切川・小渋川・蛇川・松川・万古川・三峰川などの支川で確認されている。</p>		
			天竜川水系確認地点

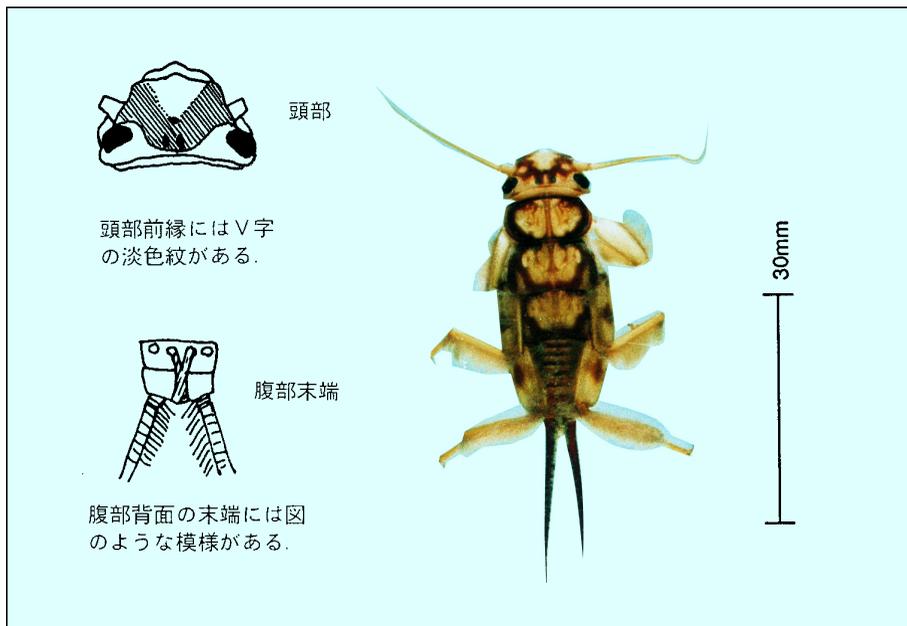


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	階級	きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
分布	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

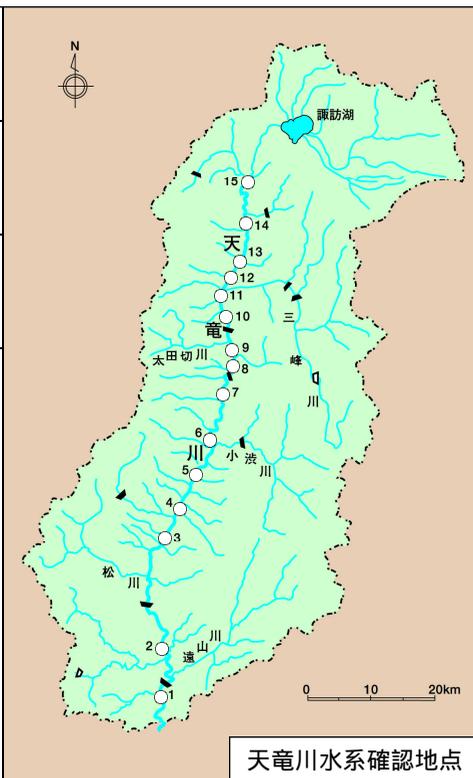
- ◇主に山地溪流に生息する。
- ◇ほふく型。主に流れの速い石礫底で生活する。
- ◇雑食性。石面の付着藻類も食べるが、ユスリカやカゲロウなどを主として食べる。大型種は肉食傾向が強い。
- ◇年1世代で、4月～6月に羽化する。
- ◇天竜川本川では伊那より下流の4地点で見られた。

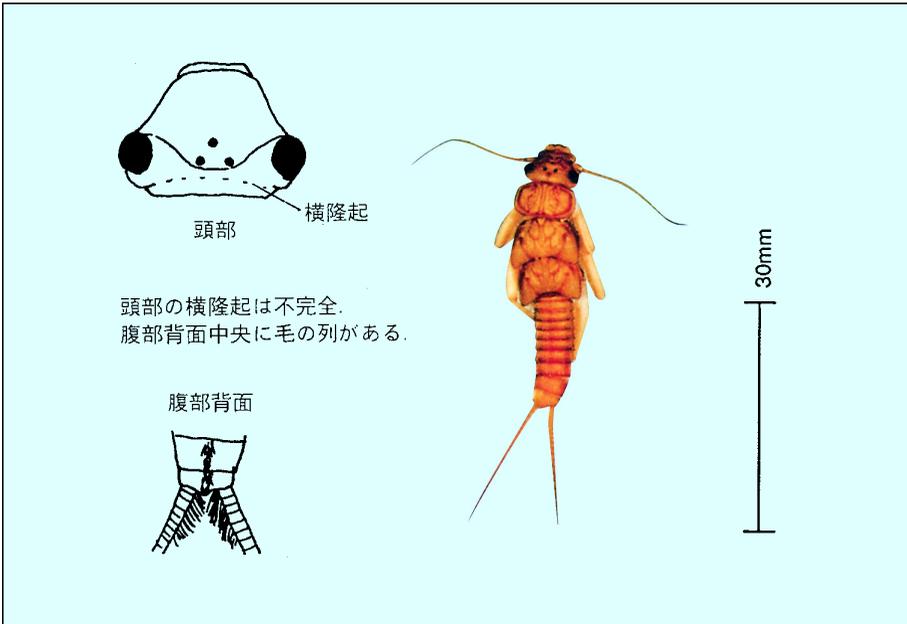




生活場所	水質階級	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
	分布範囲	礫 — 砂 — 泥
生活様式・その他	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

◇主に山地溪流に見られる。
 ◇ほふく型。石の間を這いまわり、行動はかなり速い。
 ◇肉食性。カゲロウ・トビケラなどを食べる。
 ◇年1世代で、6月～8月に羽化する。
 ◇天竜川では支川の上流域に多い。

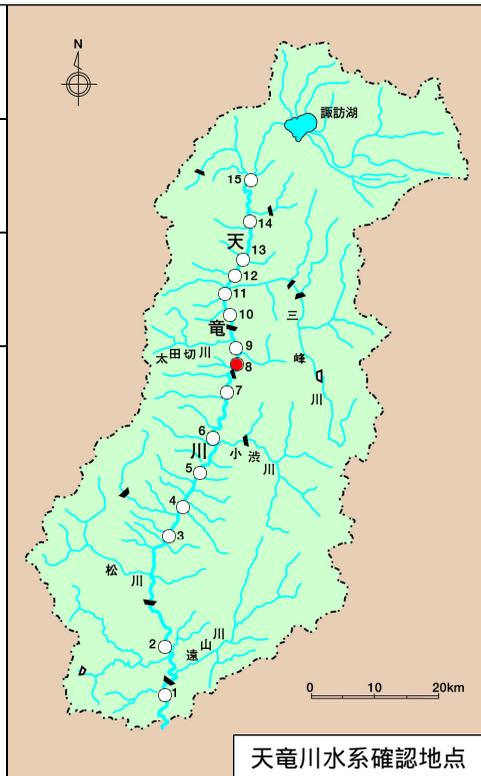




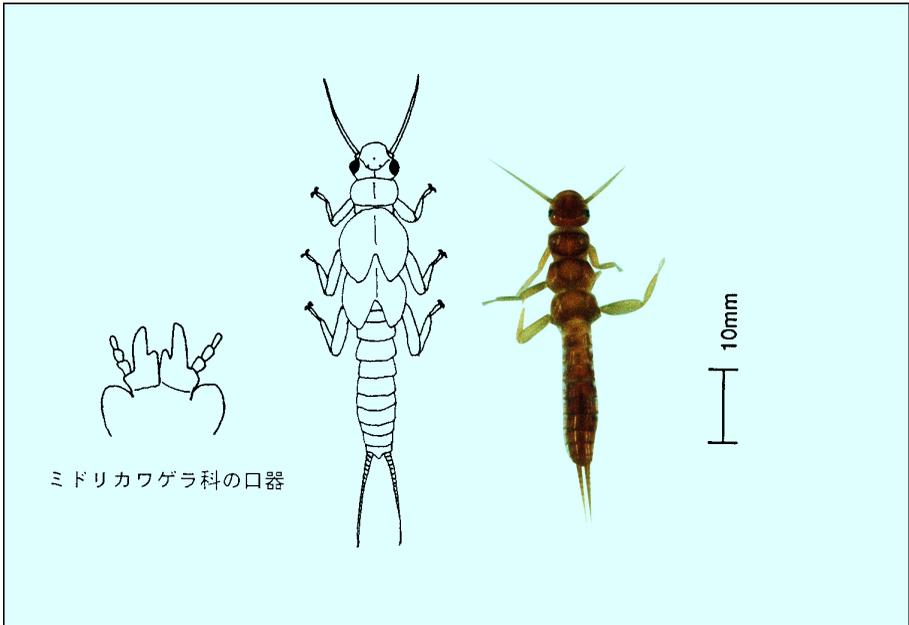
生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	階級	きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
分布	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇主に山地溪流に生息する。
- ◇ほふく型。主に流れの速い石礫底で生活する。石の間を這いまわり、行動はかなり速い。
- ◇肉食性。カゲロウ・トビケラなどを食べる。
- ◇年1世代で、8月頃に羽化する。
- ◇天竜川本川では小鍛冶橋(St.8)のみで見られたが、支川ではごく普通に見られる。



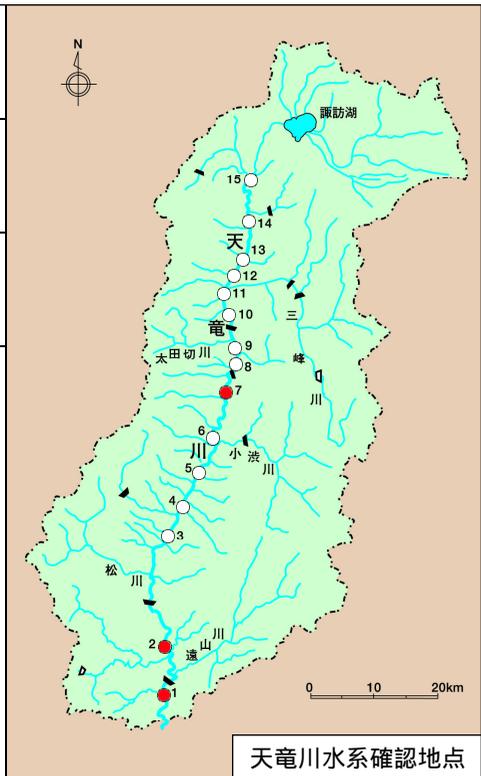
天竜川水系確認地点

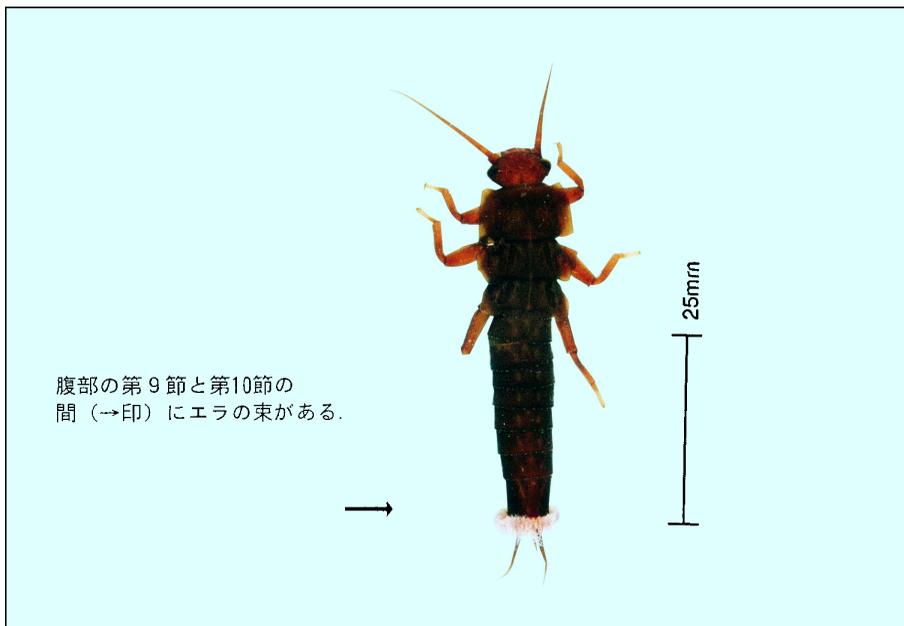


生活場所	水質階級	os — -ms — -ms — ps きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼	

生活様式・その他

- ◇主に山地溪流のきれいな水域に見られる。
- ◇ほふく型。溪流の石の下や落ち葉の間を這いまわる。
- ◇植食性。落ち葉，付着藻類などを食べる。
- ◇春から夏にかけて羽化する。
- ◇天竜川本川のほぼ全川で見られる。
- ◇種族の同定が難しい科。

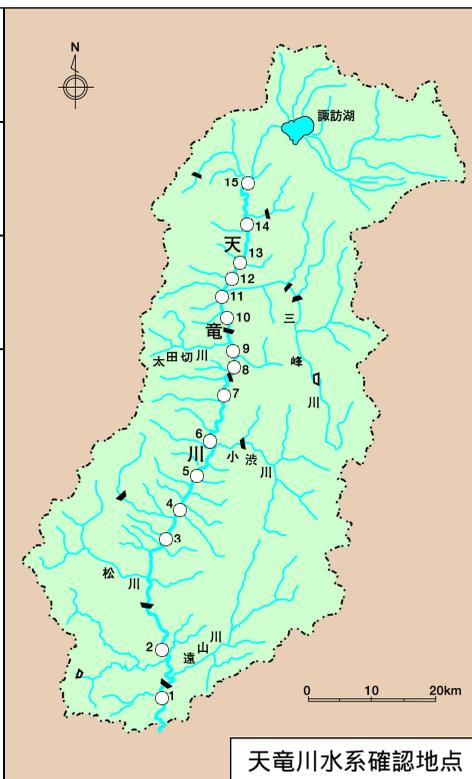


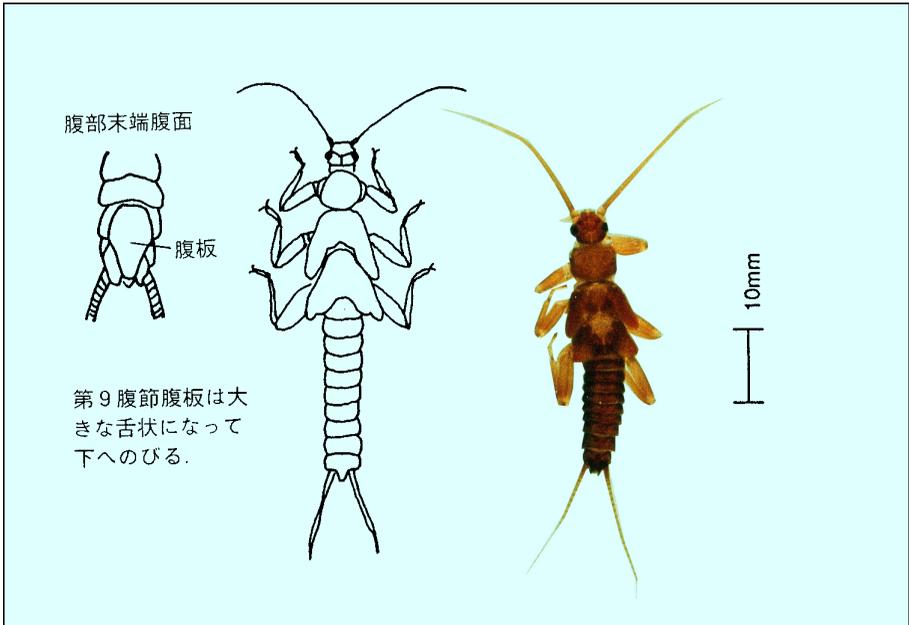


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
分布	範囲	礫 — 砂 — 泥
		上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇小溪流や湧水などにある石の下や落ち葉の間に生息する。
- ◇ほふく型。生息場所の水温は非常に冷たく5~10℃程度。
- ◇植食性。落ち葉、コケ類、付着藻類を食べる。
- ◇幼虫でいる期間は3年ほど。晩秋~冬に羽化する。
- ◇天竜川流域では、与田切川・遠山川などの高標高域の小川などに生息する。

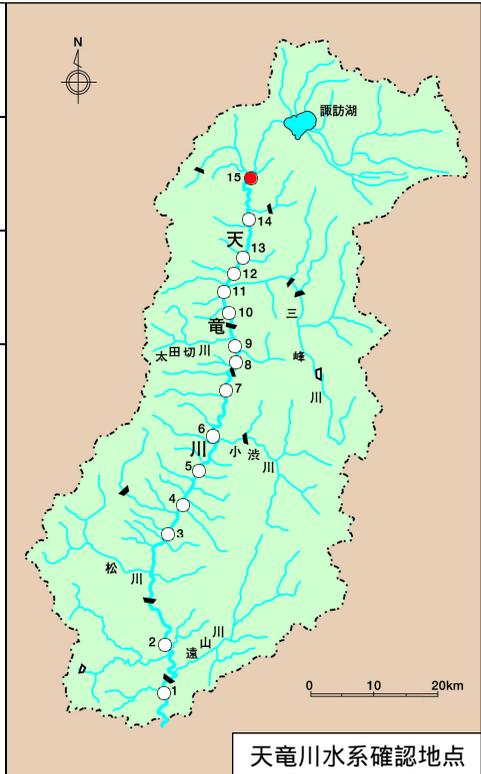




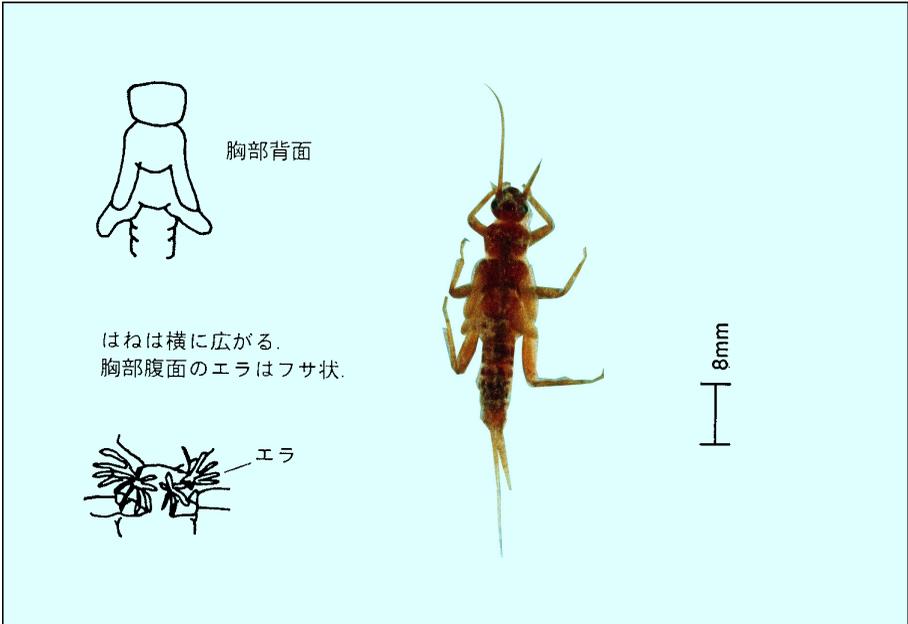
生活場所	水質階級	os — -ms — -ms — ps
		きれい ← → 汚ない
生活場所	流れの速さ	速い ← → 遅い
生活場所	底質	礫 — 砂 — 泥
生活場所	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇主に山地溪流のきれいな水域に見られる。
- ◇ほふく型。流れのややゆるやかな溪流の石の下や落ち葉の間を這いまわる。
- ◇植食性。落ち葉、付着藻類などを食べる。
- ◇早春に羽化する。
- ◇天竜川本川では、辰野町 (St. 15) の横川川合流点付近で見られた。
- ◇種族の同定が難しい科。



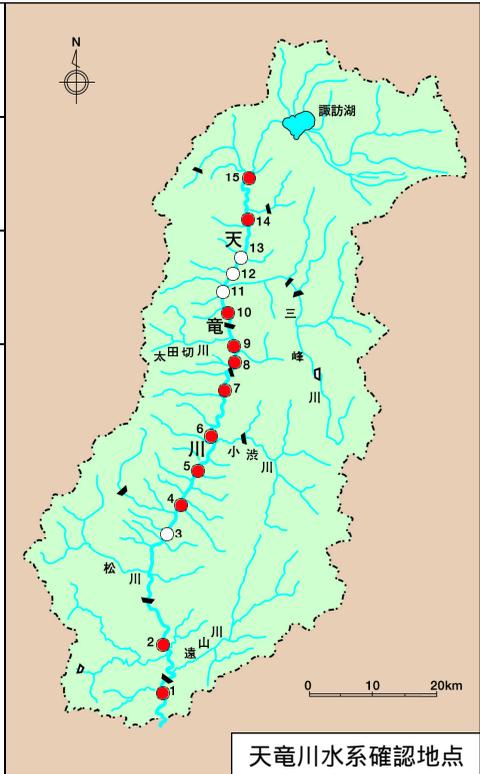
天竜川水系確認地点

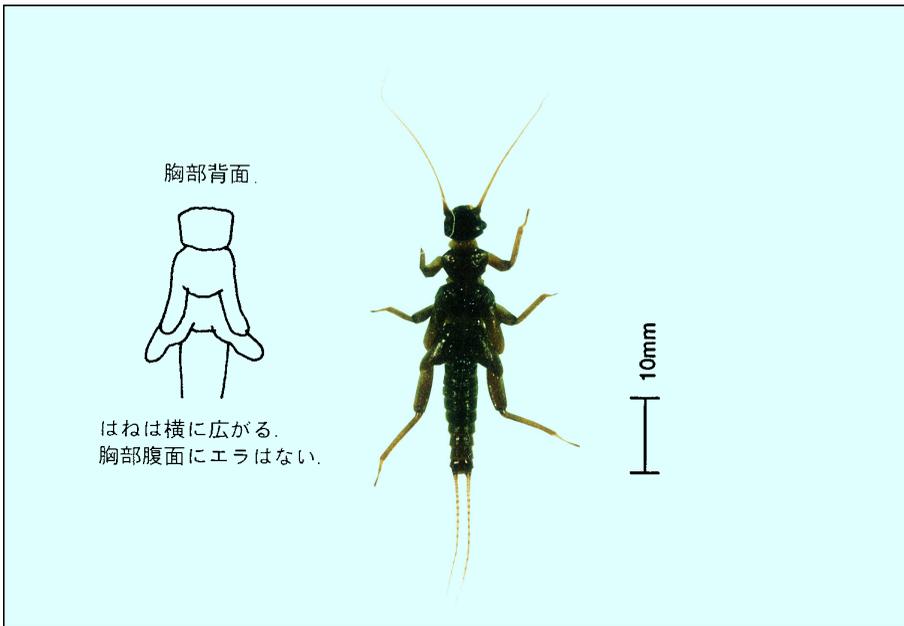


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
分布	底質	礫 — 砂 — 泥
	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

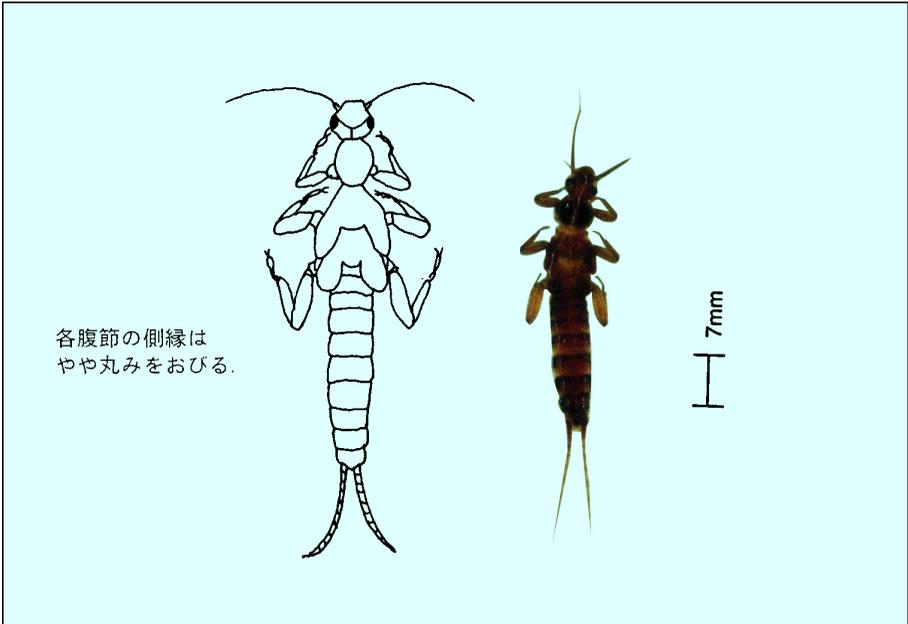
生活様式・その他

- ◇主に山間の水のきれいな溪流域に生息する。
- ◇ほふく型。
- ◇雑食性。主に付着藻類、落ち葉を食べる。
- ◇年1世代で、早春から晩春にかけて羽化する。
- ◇天竜川本川では、市街地付近を除きほぼ全川で見られる。





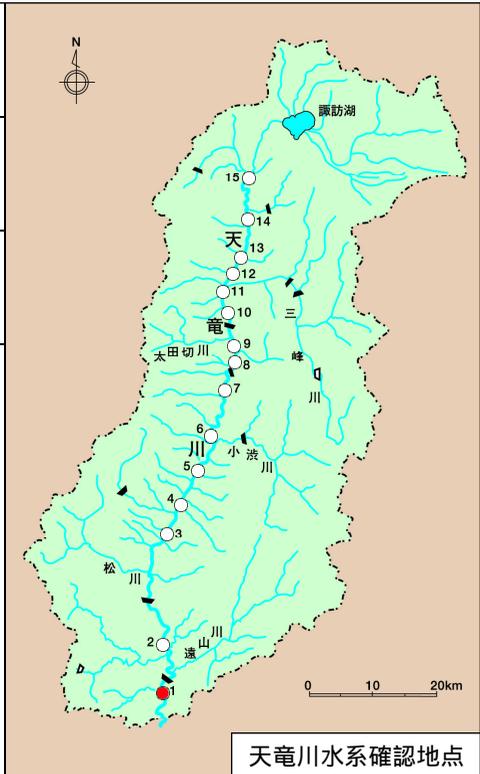
生活場所	水質階級	os — -ms — -ms — ps きれい ← → 汚ない	
	流れの速さ	速い ← → 遅い	
	底質	礫 — 砂 — 泥	
	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼	
生活様式・その他	<p>◇主に山間の水のきれいな渓流域に生息するほか、中流域の平瀬・砂泥底・水草の中など生息範囲は広い。</p> <p>◇ほふく型。落ち葉や石礫の間をゆっくりと活動する。</p> <p>◇雑食性。主に付着藻類，落ち葉を食べる。</p> <p>◇年1世代で，早春から晩春にかけて羽化する。</p> <p>◇天竜川本川では市街地付近を除きほぼ全川で見られる。</p>		天竜川水系確認地点



生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	階級	きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
分布	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

生活様式・その他

- ◇生息場所、習性などはまだ十分判っていない。
- ◇早春から春に孵化し、夏は川底の砂に潜って仮眠する。秋に急速に成長し、晩秋から冬に親になる。
- ◇植食性。落ち葉など。
- ◇山岳地帯では残雪や雪渓上に見られ、セッケイムシとも呼ばれる。
- ◇天竜川本川では、早木戸川合流点 (St. 1) で見られたが、支川の上流域では多くの記録がある。

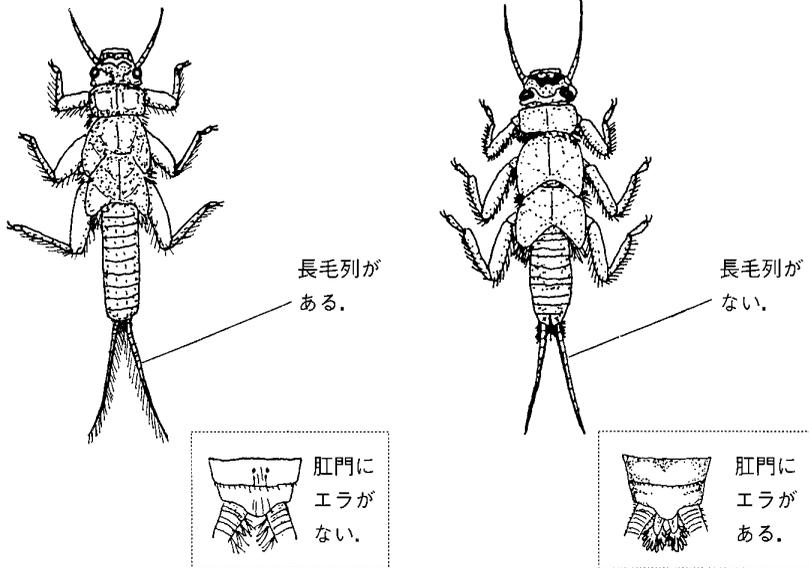


●コラム カワゲラは尾ですみわける？！

カワゲラの仲間には尾に長毛列のあるものと、長毛列はないが肛門こうもんにエラのあるものがあります。

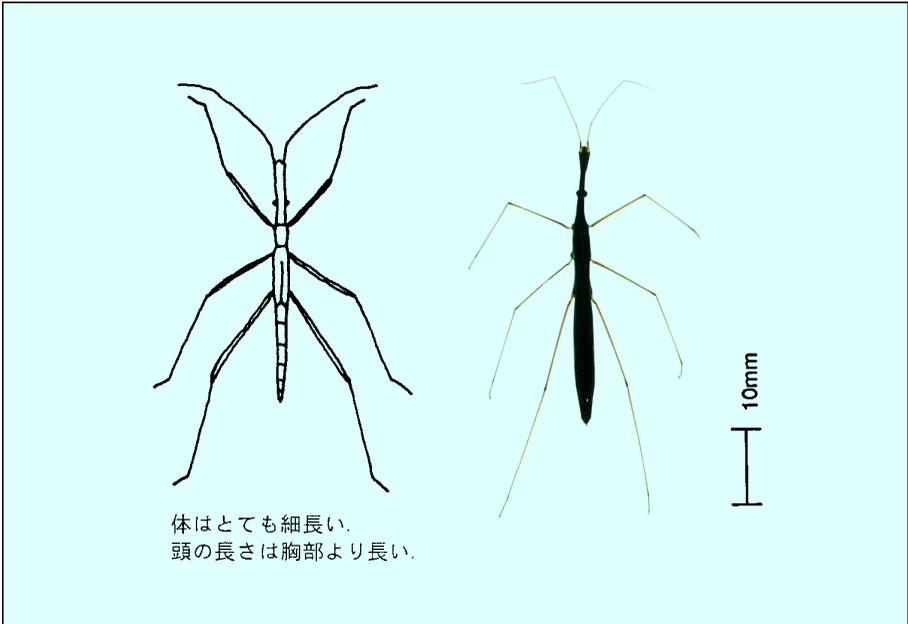
長毛列のあるものは流れの速いところで見つかります。推測の範囲ですが、長毛列は流速の速いところで動き回るためのかじ取りの役割をしていること、尾の周囲の渦の発生をおさえるため、と想像されます。

一方、長毛列がなくエラのある種は、比較的緩い流れのところで見つかります。それゆえ長毛列がないのでしょうか。またゆるい流れでは、流水に比べて水中の酸素がやや少ないので、呼吸しやすいようにエラが発達したのでしょうか。



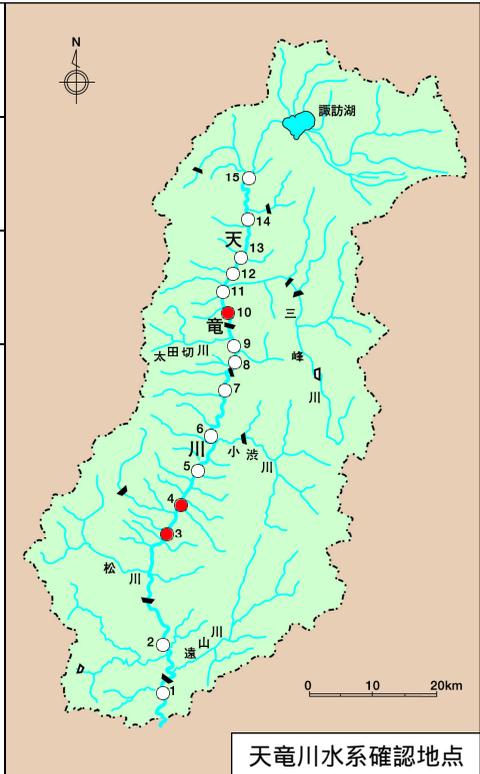
▲ カミムラカワゲラ

▲ ヒメオオヤマカワゲラ

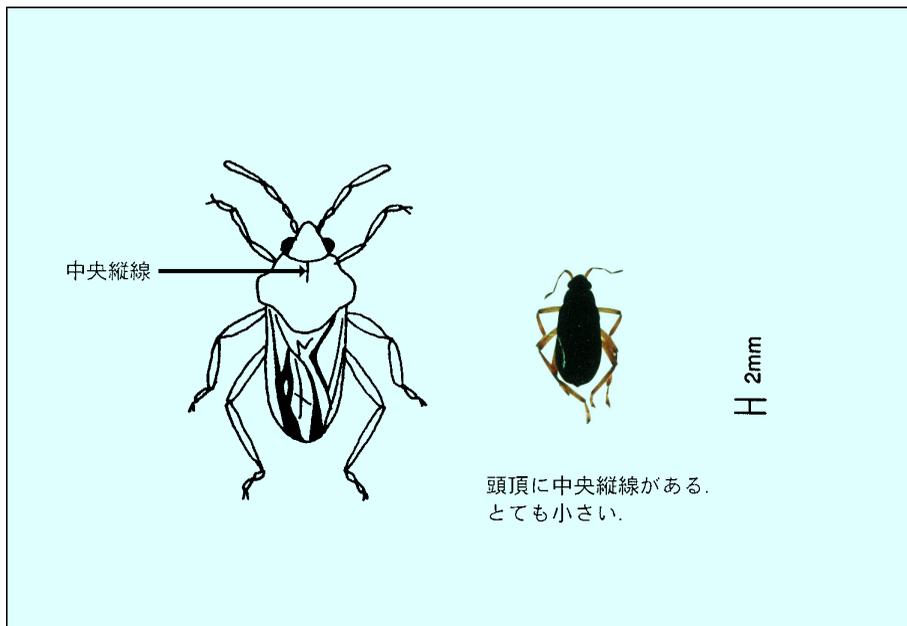


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
	分布	礫 — 砂 — 泥
生活様式・その他	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

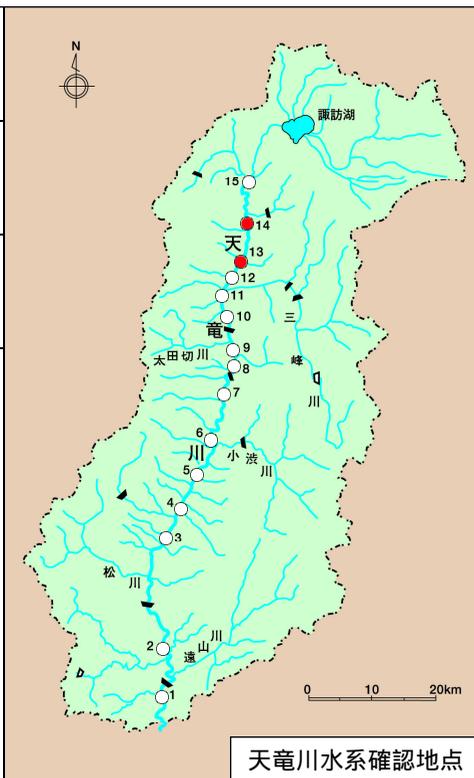
- ◇平地の池沼、川の浅い淵・岸边などに生息する。
- ◇草の繁った水辺の湿地上または水面に群生する。
- ◇肉食性。水面で出会う小昆虫・ボウフラなどを餌とする。
- ◇越冬した成虫は春に産卵し、年に数世代を重ねる。
- ◇天竜川本川では3地点(St. 3, 4, 10)の水溜まりや岸边の淀みで見られた。



天竜川水系確認地点

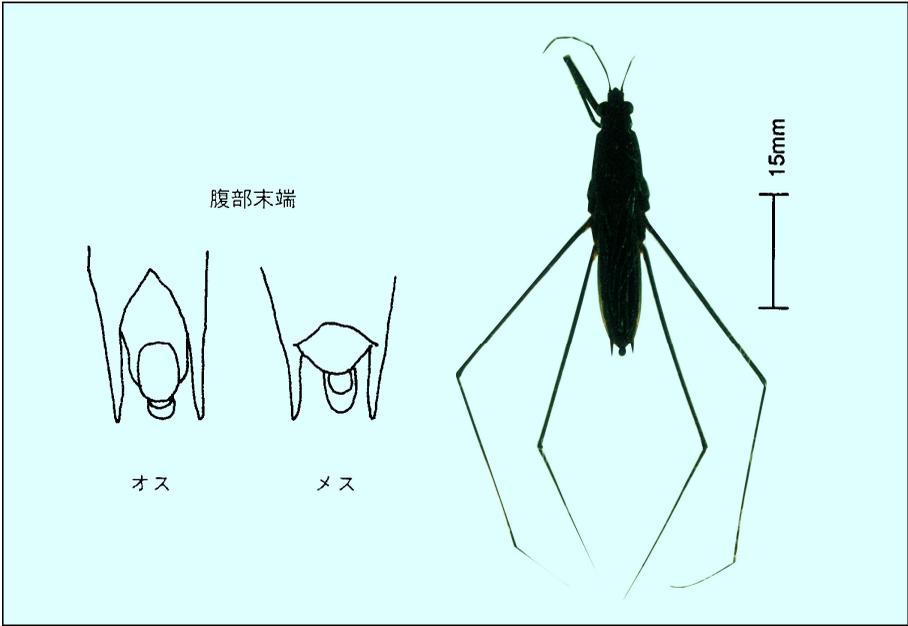


生活場所	水質階級	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
	分布範囲	礫 — 砂 — 泥
生活様式・その他	分布範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼
	生活様式・その他	◇平地の池沼，川の浅い淵，溪流の水際などに生息する。
	生活様式・その他	◇水面上で生活し，池沼では水際部に群生する。
	生活様式・その他	◇肉食性。水面で出会う小昆虫を餌とするほか，甲殻類や魚の死体にも集まる。



◇越冬した成虫は春に産卵し，年に数世代を重ねる。

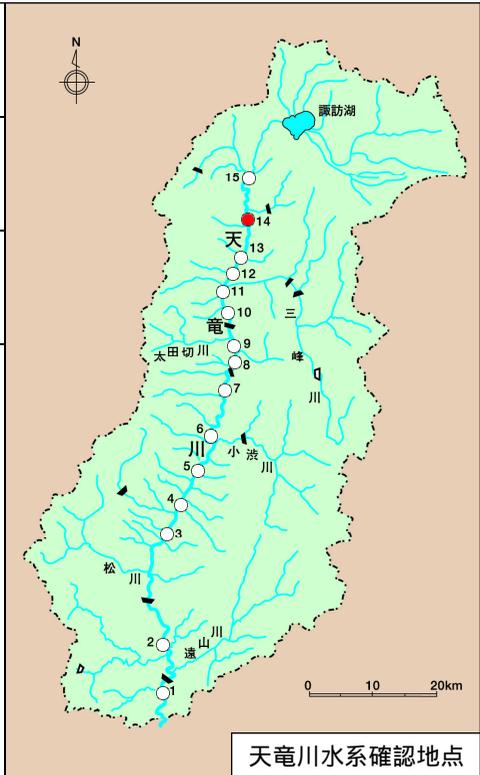
◇天竜川本川では2地点 (St. 13, 14) の流れのゆるやかな岸辺で見られた。

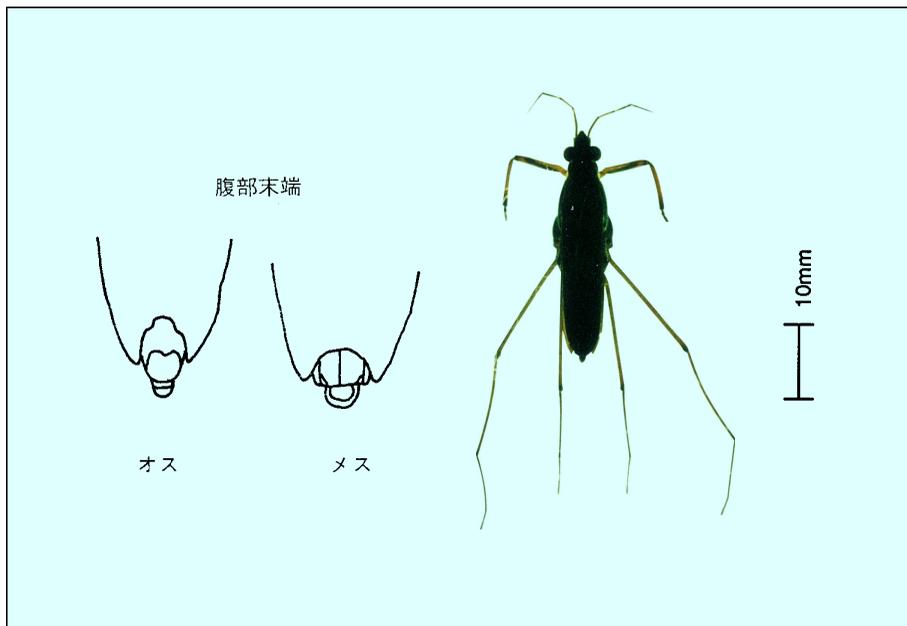


生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps きれい ← → 汚ない
	流れの速さ	速い ← → 遅い
	底質	礫 — 砂 — 泥
分布	上流 — 中流 — 下流 池沼	

生活様式・その他

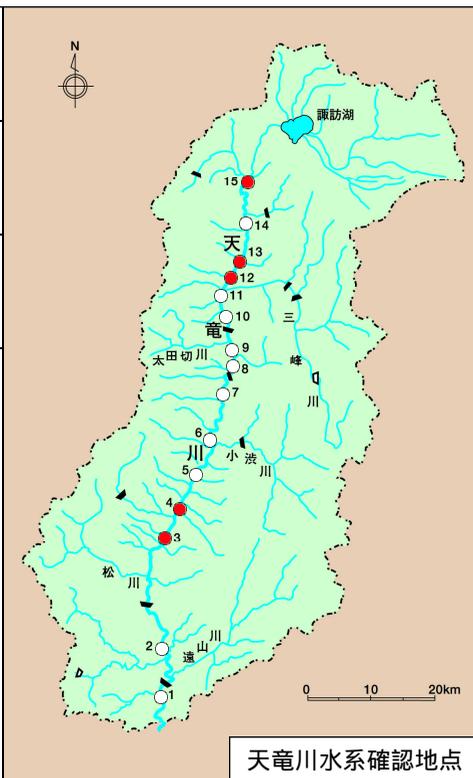
- ◇平地の池沼，川の浅い淵・水際などに生息する。
- ◇水面をすべるようにして活動する。
- ◇肉食性。水面に落ちた小昆虫などの体液を吸う。
- ◇成虫のまま越冬し，春～夏に石や木片に卵を産みつける。
- ◇天竜川本川では柿の木淵(St. 14)付近の浅い淵で見られた。





生活場所	水質	os — -ms — -ms — ps
	流れの速さ	きれい ← → 汚ない
	底質	速い ← → 遅い
	分布	礫 — 砂 — 泥
生活様式・その他	範囲	上流 — 中流 — 下流 池沼

◇平地の池沼，川の浅い淵・水際などに生息する。
 ◇水面をすべるようにして活動する。
 ◇肉食性。水面に落ちた小昆虫などの体液を吸う。甲殻類や魚類の死体にも集まる。
 ◇成虫のまま越冬し，春から初夏に産卵を始め，年2～3回発生する。
 ◇天竜川本川では飯田市付近と三峰川合流点上流の浅い淵で見られた。



天竜川水系確認地点